CAT4.14.1　リリースノート

最終更新日　2017/04/03

目次

リリースノートについて 1

リリースノートの内容 1
フィードバックについて 1

1. 主な機能強化 2

1.1. ビルド管理機能追加 3
1.1.1. ビルドバージョンの登録方法 4
1.1.2. テスト仕様書へのビルドバージョン設定方法 5
1.1.3. テスト仕様書ダウンロード時の記載(フォーマット変更)について 7
1.2. テスト基本設定画面の追加(ケース消化数に NG 除外オプション追加) 8
1.3. テスト計画のバリエーション追加 9
1.3.1. プロジェクトで利用する予定値の設定方法 9
1.3.2. 概要予定の設定方法 10
1.3.3. 残予定の表示 10
1.4. 信頼度成熟曲線の追加 11
1.5. 障害管理の改善点 11
1.6. テスト実行画面の改善点 14
1.7. その他改善点 14

2. 障害要望対応一覧 16

リリースノートについて

リリースノートは、CAT の最新リリースに関する総合的なユーザガイドです。CAT リリースノートは、新機能や強化機能、そしてそれらをすぐに活用するために必要な情報を提供します。

リリースノートの内容

リリースノートでは、新しい重要な機能強化について次の情報を提供します。

- 機能に関する簡潔で詳細な説明
- 設定と管理の開始にあたって役に立つ実装のヒント
- メリットを最大限に引き出すのに役立つベストプラクティス
- 詳細な説明

主な新機能以外のメール、新しいレポートタイプ、セキュリティとパッケージなど、最新リリースに含まれるその他の機能強化や機能変更の一覧と簡単な説明は、その他の機能強化の章に記載されています。
CAT の最新リリースを使いこなすためのガイドとして、リリースノートをお役立てください。

フィードバックについて

CAT が成功を収めるには、リリースノート、オンラインヘルプ、およびドキュメントがいかに重要であるかを認識しています。提供するコンテンツの継続的な向上のために、成功要因と失敗要因を把握したいと考えています。情報のご提供をお待ちしております。

1.　主な機能強化

CAT4.14.1 では、要望が高かった中から以下の機能強化を行いました。

- ビルド管理機能追加
- ケース消化数に NG 除外オプション追加
- テスト予定概要入力方式の追加
- 信頼度成熟曲線の追加

また、利活用促進のため、以下の機能改善を行いました。

- 障害管理の改善
  - 登録ボタンの配置変更
  - 障害一覧
    - 工程・種別項目の追加（CSV 含む）
    - ID 列の自動列幅調整
    - 参照画面のバックグランド表示
  - 参照画面
    - 工程項目表示追加
    - URL コピーボタンの追加
    - 移動/コピーの常時表示
    - ショートカット機能追加
  - 外部 BTS : JIRA のサブタスク起票に対応
- テスト実行
  - 障害紐づけ、一括更新機能の範囲選択方式の見直し
- その他
  - LDAP 連携機能の改善
  - プロジェクトメールの表示オプション追加

1.1.　ビルド管理機能追加

検証対象の製品のビルドバージョンを管理し、実行結果・障害と紐付けする機能を実装しました。
従来はリリースバージョンを対象にしたバージョン管理を保有していましたが、本バージョンよりビルドバージョンも管理できるようになります。

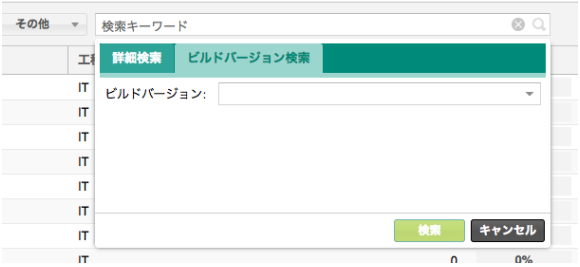
■本対応にて追加・変更した機能一覧
・ビルドバージョン管理
・テスト実行結果のビルドバージョン検索
・障害管理へのビルドバージョン追加

ビルドバージョンをご利用いただくと以下のことが実現可能です。

■実行セルのビルドバージョン検索
　実行セル毎にどのビルドバージョンで実施したかを検索できます。モジュール更新後、再実施範囲の特定等にご利用ください。検索できる箇所は次の通りです。

１．テスト仕様書内で検索する場合「テスト実行画面の実行列フィルタ」

２．テスト仕様書全体から検索する場合「詳細検索オプション」
ビルド番号検索をすることで、ビルド番号での実施状況も確認できます。
場所：テスト管理>テスト仕様書一覧>検索ボックスの▼を押下します。



ビルドバージョン検索タブから検索すると、該当するビルドバージョンのセルを含む仕様書が検索できます。列をクリックすると該当部分をフィルタした状態でテスト実行画面が表示されます。

1.1.1.　ビルドバージョンの登録方法

プロジェクト毎にビルドバージョンの利用の有無を設定できます。

１．ビルドバージョンを利用する際は、次の画面から設定します。
[該当画面：プロジェクト管理> ビルドバージョン管理]

※本設定は、社員権限以上のユーザでご利用いただけます。

２．ビルドバージョン設定画面で「ビルドバージョンを利用する」にチェックを入れます。

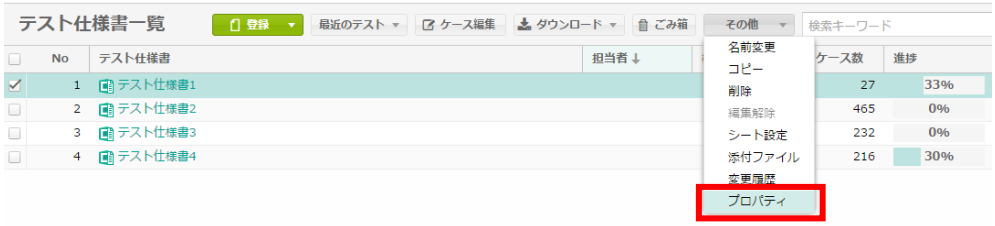
3．設定するビルドバージョンを入力後、入力欄の右記にある追加ボタンを押下して追加します。

4．ビルドバージョンの追加が完了したら、下部にある登録ボタンを押下します。

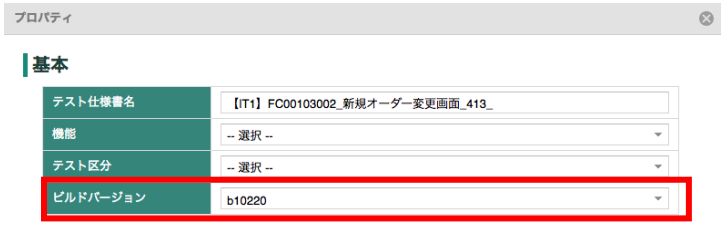
1.1.2.　テスト仕様書へのビルドバージョン設定方法

ビルドバージョンはテスト仕様書のプロパティから設定します。設定後、テスト一覧画面から確認できます。

1．テスト管理画面>テスト仕様書一覧で、仕様書を選択後、その他>プロパティを開きます。



2．プロパティ画面にてビルドバージョンを選択し、更新ボタンを押して、設定を完了します。



CAT4.14.1　リリースノート

仕様書に指定されているビルドバージョンは次の画面で確認できます。

テスト管理画面のテスト仕様書一覧

テスト実行画面のタイトル部分

※マウスホバーでビルドバージョンに設定した備考も確認できます。

1.1.3.　テスト仕様書ダウンロード時の記載(フォーマット変更)について

テスト仕様書のダウンロード時、フォーマットによりビルド番号が追記されます。

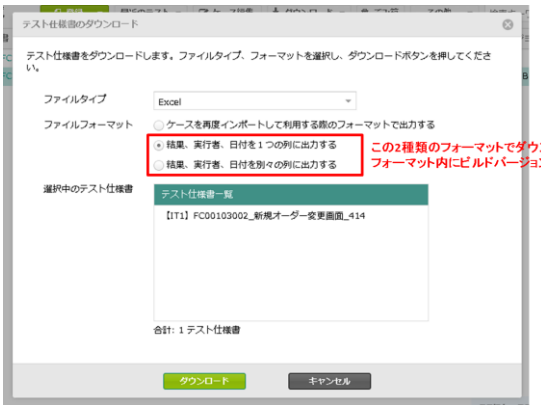
該当画面：

テスト管理> 任意のテスト仕様書を選択> その他> ダウンロード

該当フォーマット：

・結果、実行者、日付を１つの列に出力する

・結果、実行者、日付を別々の列に出力する



各フォーマット毎の出力例：

［結果、実行者、日付を１つの列に出力する］

	E	F	G	H	I	J
5.	確認項目	期待値	結果	結果2	実行備考	設計備考
番生	伝票番号の自動で採番されるか	以下の伝票番号が採番されること YYYYMMDD000XX(最大番号+1)	NG Ishi 2017-03-14 15:38:27.0 2017/03/1	NG Ishi 2017-03-09 16:16:43.0 B0101		
力ン	正常なフォーマットのときに	YYYY/MM/DDに整形されて	OK Ishi 2017-03-14	OK Ishi 2017-03-23		

結果列の末尾にビルドバージョンが追記されます。

［結果、実行者、日付を別々の列に出力する］

	L	M	N	O	P
ld	結果2	結果2_更新者	結果2_更新日	結果2_BTS_ID	結果2_build
)/	NG	Ishi	2017-03-09 16:16:43.0		B0101
)/	OK	Ishi	2017-03-23 16:56:27.0		B0102
	OK	Ishi	2017-03-		B0102

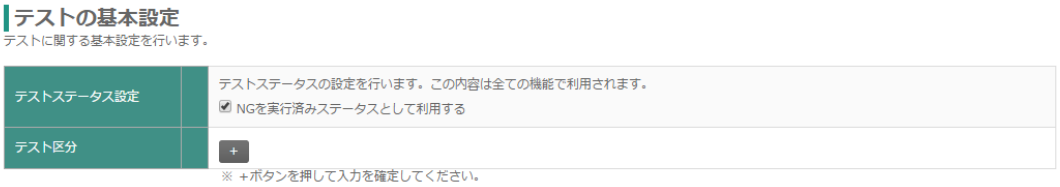
結果列の右に
ビルドバージョンの列が
追加されます。

1.2.　テスト基本設定画面の追加(ケース消化数に NG 除外オプション追加)

サービス管理にテスト基本設定画面を追加しました。

画面の場所：

右上の歯車> サービス管理> 任意のサービスを選択> テストの基本設定



主な変更点

・従来、サービス管理>サービスの基本設定にあった次のテスト関連の項目を、
本画面にまとめました。
「テスト区分」「カスタムフィールド」
・以前から挙がっていた要望を反映し、
ケース消化数に NG を含めるか否かを指定できるオプションを新設しました。
（初期状態は利用するにチェックが入っています）

NG オプションを有効にすると以下の箇所に反映されます。

CAT における実施数の計数方法：OK + *NG* + 修正済 + 対象外
→有効にした場合、NG が実施済件数として計数されなくなります。

[反映される機能・画面]

機能・画面	箇所	影響項目
プロジェクトトップ	サマリー	実施件数、全体進捗率、予定進捗率、本日の進捗、完了予定数
プロジェクトトップ	テスト状況	実施済み
テスト管理	仕様書一覧	進捗
テスト実行	進捗確認	実行状況
全体進捗	グラフ テーブル	消化数、残ケース数、進捗率
詳細進捗	テーブル	残ケース数、進捗率
プロジェクトメール	–	実施件数、全体進捗率、予定進捗率、本日の進捗、完了予定数

1.3.　テスト計画のバリエーション追加

従来、テスト仕様書毎のテスト予定との予実管理を主としていましたが、以下の要素を追加しました。プロジェクトトップの各種進捗や全体進捗のグラフ・テーブルに反映する数値の変更ができます。プロジェクト毎に設定が可能です。

予定入力の方法　：　テスト仕様書毎（詳細）、テスト工程毎（概要）
→プロジェクトの工程毎のテスト予定数を”概要”として設定できるようになりました。

予定として表示する内容　：　予定実施数、予定残実施数
→プロジェクトトップや全体進捗のテスト予定数の表示を切り替えができます。

1.3.1.　プロジェクトで利用する予定値の設定方法

プロジェクト内で表示する予定値とグラフの表示について以下の画面から設定できます。
[プロジェクトトップ>プロジェクト設定>プロジェクトの基本設定]

[予定値の説明]

予定値	説明
概要	全体進捗で入力した予定がプロジェクトトップの予定数や進捗グラフの予定数として反映されます。 概要予定の場合、自由に予定を入力可能です。 （入力方法は下記を参照ください。）
詳細	詳細進捗で入力した予定がプロジェクトトップの予定数や進捗グラフの予定数として反映されます。 （従来通り：初期値） 詳細の場合、テスト仕様書のケース数が入力の上限値となります。

[グラフ表示の説明]

グラフ表示	説明
予定	全体進捗の予定が累積予定数で表示されます。
残予定	全体進捗の予定が残予定数で表示されます。 ※1.3.3 にイメージを記載しています。

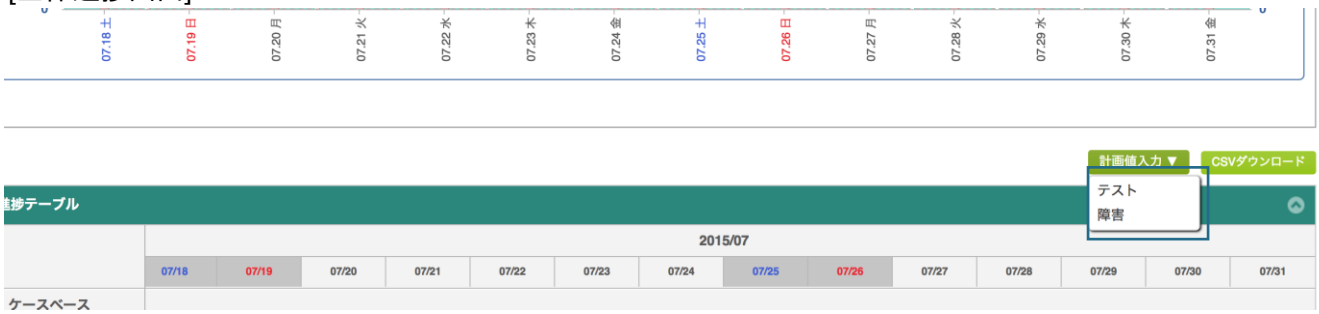
1.3.2.　概要予定の設定方法

全体進捗から工程毎の消化予定ケース数を”概要”として入力できます。

ここで入力された予定は、1.3.1 の予定値が概要の場合、プロジェクト内の予定ケース数として利用されます。

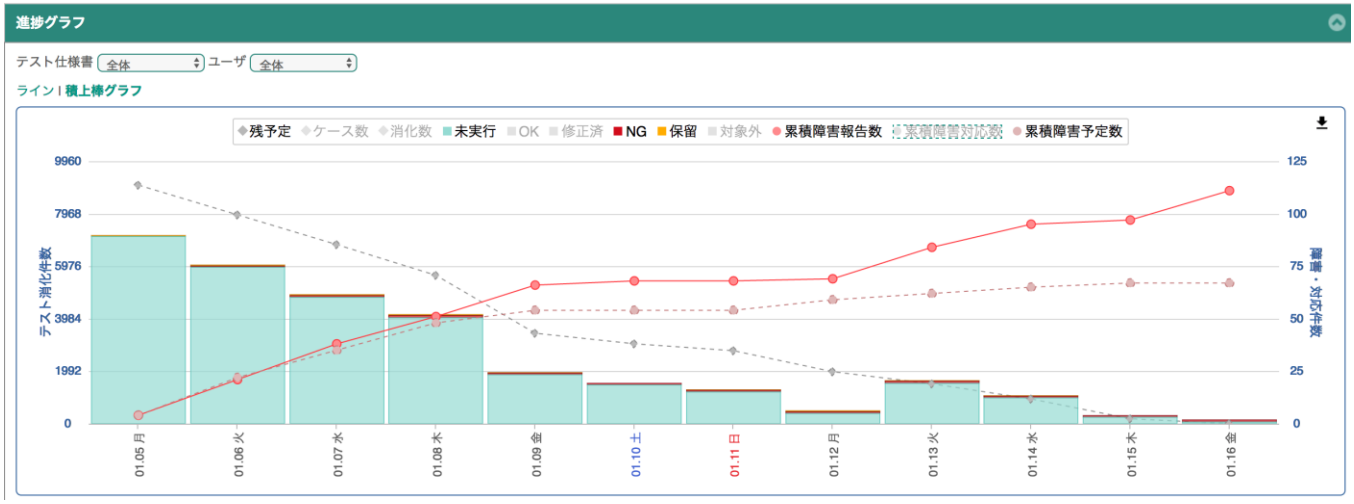
入力方法は障害の予定登録と同様です。概要予定はテスト仕様書未登録状態でも登録可能です。

[全体進捗画面]



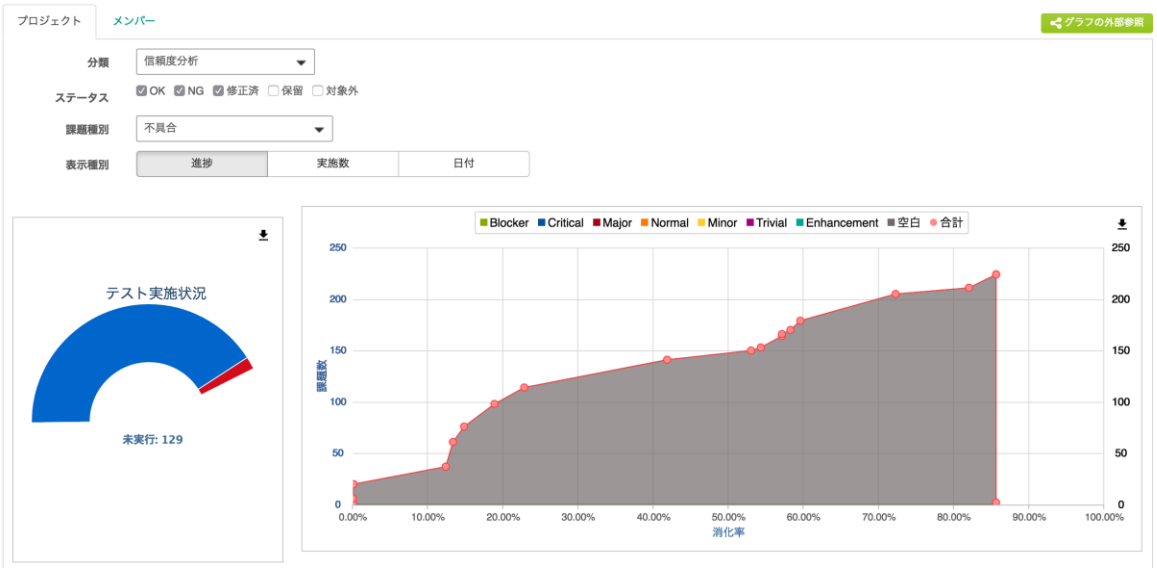
1.3.3.　残予定の表示

予定表示を残予定とすると予定表示が残予定ベースになります。(下記、灰色の線となります。)



1.4.　信頼度成熟曲線の追加

分析画面にて信頼度成熟曲線を新設しました。
試験量に対する課題数の推移を確認することにより、品質の予測にご利用ください。
横軸は、日付（実績発生日単位）・実施数・進捗率の３種類から選択でき、課題の重要度毎に分析が可能です。



なお、本機能をリリースするにあたり、リリース前の履歴データを参照する場合は、課題の重要度の履歴は空白に割り当てられますので、その点は留意ください。
※イメージは稼働直後のイメージとなります。

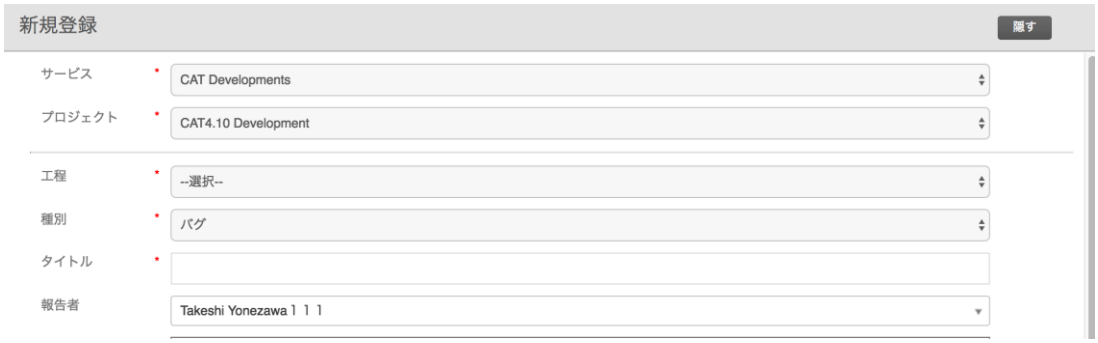
1.5.　障害管理の改善点

障害管理画面について以下の点を改善しました。

- 登録ボタンの配置変更
  課題の登録ボタンの配置をヘッダー部分に変更しました。課題一覧ページにあった登録ボタンがなくなり、ヘッダーに登録ボタンが配置されました。
  配置変更によりどのページからも課題を登録できます。
  また、本対応により 4.14.000 で対応した障害一覧画面での c による障害登録ショートカット機能は廃止しております。

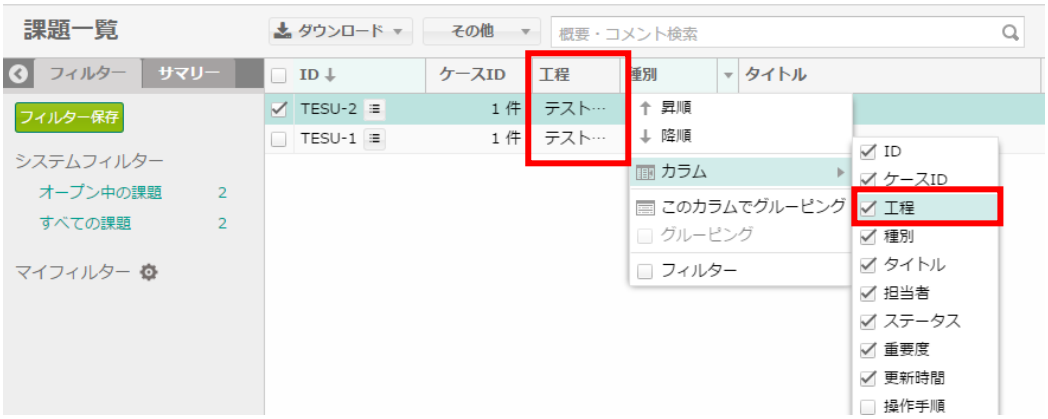
[CAT の各画面のヘッダー]

また、新規登録時には、サービスやプロジェクトの選択が可能となります。

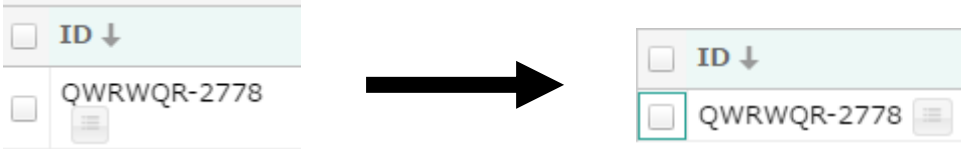


➢　障害一覧

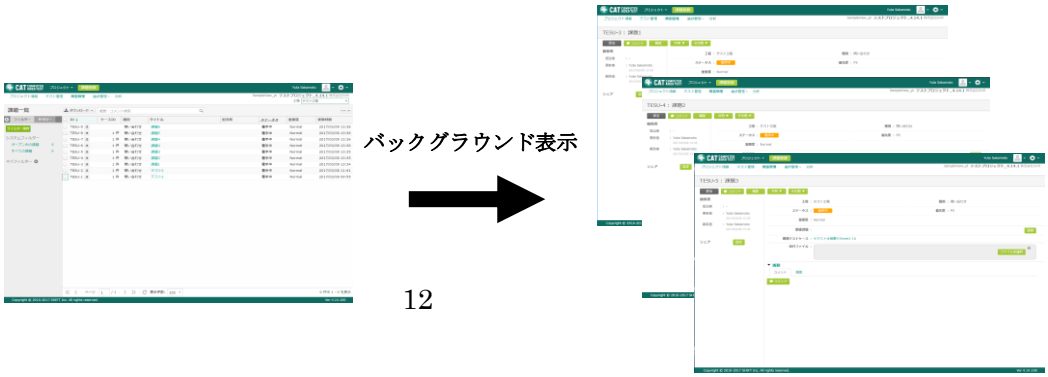
- 工程・種別項目の追加（CSV 含む）
  カラムに工程・種別項目を追加しました。



- ID 列の自動列幅調整
  ID 列が長い場合、今までは改行する場合がありましたが、自動的に幅を変更し、一行で表示するよう変更しました。



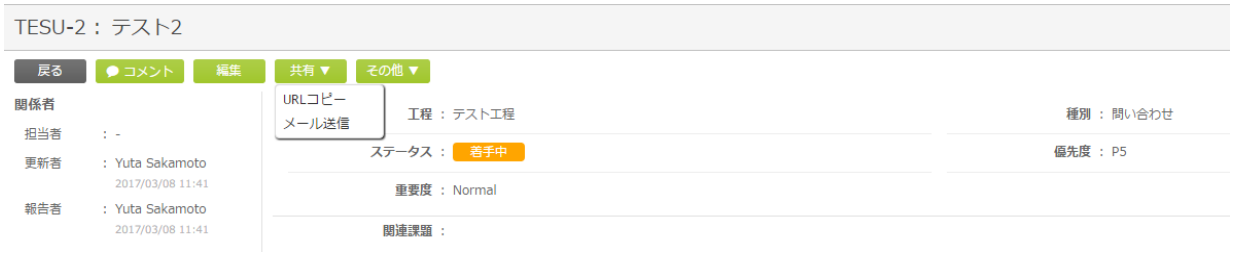
- 参照画面のバックグランド表示
  障害管理一覧画面についてチケットのバックグラウンド表示に対応しました。
  ※障害管理一覧画面にて「任意のタイトルを右クリック＞新しいタブで開く」「任意のタイトルを Ctrl + クリック」等で新しいタブにて参照画面を表示できるようになりました。



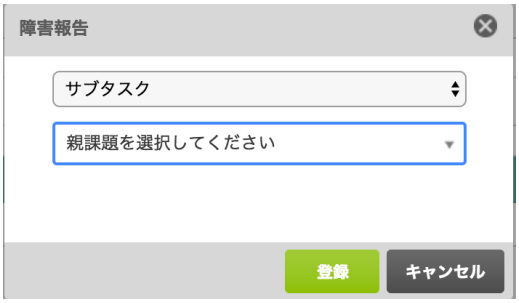
CAT4.14.1　リリースノート

- 参照画面
  - 工程項目表示追加
    参照画面にて工程を追加しました。
  - URL コピーボタンの追加
    参照画面から URL のコピーができるようになりました。
  - 移動/コピーの常時表示
    今まで条件によって、参照画面にて「その他」のボタンが表示されず移動/コピーができませんでしたが、常時「その他」ボタンがでるように修正しました。
  - 工程・種別をクリックすることで移動ダイアログを表示するように変更
  - ctrl+shift+ ←→でページ送りをできるように変更

[参照画面の例]



- 外部 BTS：JIRA のサブタスク起票に対応
  JIRA の課題タイプ「サブタスク」に連携している種別で起票する場合、直接サブタスクとして起票できるように対応しました。種別選択時に親となる課題を選択することにより、その課題のサブタスクとして登録可能です。
  ただし、通常の課題では新規起票時に機能や関連ケースの設定が可能ですが、JIRA の仕様により起票時の連携ができません。起票後指定してください。ケースに紐付けについては、起票後に課題紐付け機能を利用し、紐付けしてください。



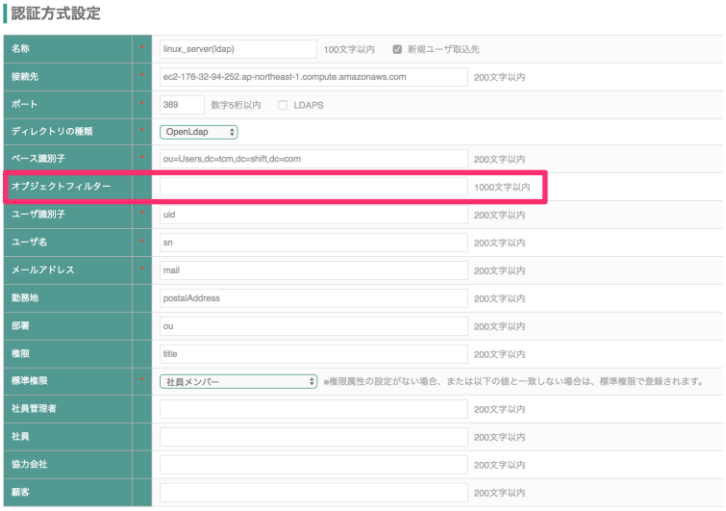
1.6. テスト実行画面の改善点

- 障害紐づけ、一括更新機能の範囲選択方式の見直し
  テスト実行画面にて障害紐づけ時の一括更新範囲の指定を変更しました。
  実行列を含む範囲を選択することで選択状態とするように改善しました。

  [実行結果セル以外が設定選択されていても、障害紐付、一括更新ができます]

1.7. その他改善点

- LDAP 連携機能の改善
  LDAP 連携のオプションとしてオブジェクトフィルタを追加しました。
  ディレクトリ内をフィルタして連携定義できるようになります。
  本機能を利用いただくことにより、所属毎に権限の変更や LDAP 連携の利用有無を制御できるようになります。また、外部 BTS 連携時の認証設定で“CAT の認証情報を使う”を利用いただくことで、アカウント情報を統合することが可能です。
  [認証方式管理]



CAT4.14.1　リリースノート

[アカウント設定]

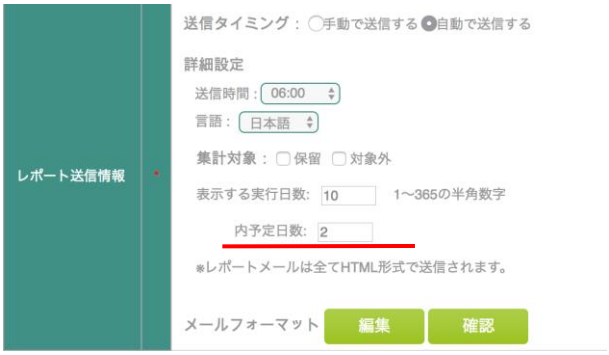
➢　プロジェクトメールの表示オプション追加

プロジェクトメールの表示オプションを追加しました。

・予定表示オプション

進捗メール表示する進捗の内、予定部分の表示日数を定義できるように変更しました。

メールにて先の予定を表示することが可能です。



● 日々消化ケース数

	03/28	03/29	03/30
計画	2	4	5
当日	3		
累計	3		

・表示内容の拡充

進捗メールの表示内容として新規に以下の２要素を追加しました。

プロジェクトサマリ　：　プロジェクトステータスのサマリ表を表示

テスト一覧　　：　テスト仕様書毎のテスト状況を表示

[表示例]

2. 障害要望対応一覧

障害 ID	修正内容
テスト実行画面	
2213 2287 2230 2202 2208 2166	[改善] ・顧客権限で参照時に実行結果欄の表示が見難い点を改善 ・実行列の選択方式の改善 ・外部 BTS 連携時に障害紐付時のログイン情報を CAT のログイン情報を利用するオプションを追加 [不具合] ・実行列からの障害紐付け時にフィルタが外れる
障害管理画面	
2307 2301 2278 2276 2081 2323 2248 2220 2218 2214 2207 1698	[改善] ・一覧、CSV、参照画面に工程及び種別を表示するように修正 ・参照画面のその他ボタンを常時表示、及び URL コピーボタンの追加 ・一覧画面から参照画面を別タブで開けるように改善 ・ページ送り追加 ・ID 列の自動幅調整 [不具合] ・コメントが SHIFT+ENTER で複数登録される ・URL リンク経由でアクセスするとエラーになる
進捗管理	
2166	[改善] ・予定の入力方法として、概要入力機能追加 ・予定の表示方式として、残予定を追加
分析	
2297	[改善] ・信頼度成熟曲線の追加 [不具合] ・外部 URL で画面サイズが小さい場合にグラフが表示されない
その他	
2264 2059 2166	[改善] ・LDAP 連携機能にオブジェクトフィルタを追加 ・プロジェクトメールに表示オプションを追加 ・Basic 認証越しの外部 BTS 連携に対応（Redmine のみ）

－以上－